



薬剤師募集中

信州医療センター

こころの医療センター駒ヶ根

阿南病院

木曽病院

こども病院



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

長野県立病院機構薬剤部

基本理念

薬物療法の『エキスパート・ジェネラリスト』として、
地域医療・専門医療を実践します。

※ 薬物療法の「エキスパート・ジェネラリスト」：薬物療法の観点から医療をプロデュースする専門家

- 1 5病院の特性とニーズに応じて、質の高い薬物療法を提供します。
- 2 薬物療法を通じて、地域全体の医療機能を向上します。
- 3 5病院の強みを活かした研修・研究により、優れた薬剤師の養成と医療人の育成に努めます。
- 4 医薬品の適正使用を推進し、患者安全に貢献します。
- 5 5病院の連携・協働により、病院の発展に貢献します。

求める 薬剤師像



Care

高い水準の知識、技術及び臨床能力を駆使して薬学的ケアが行える薬剤師

Support

地域に密着し、地域のスタッフとチーム医療を行い、患者さんが地域で安心して生活できるように支える薬剤師

Lead

研修・研究を重ね、情報発信を行い、その領域をリードできる薬剤師

キャリアの段階に合わせた研修制度により
あなたのキャリアアップを支援します！

研修制度

課程別研修

新規採用職員研修

勤務3年目研修

キャリア形成研修

新管理職研修

選択・専門研修

薬剤師研修

リーダーシップ研修

OJT研修

(研修メニューは一例)

一緒にエキスパート・ジェネラリストを目指しましょう!!



新規採用職員研修

あなたを活かす5つの県立病院

県立病院MAP



信州医療センター

病床数 320床 薬剤師 14名

診療科目 内科・脳神経内科・呼吸器内科・感染症内科・消化器内科・循環器内科・血液内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・精神科・病理診断科・救急科

地域医療をリードするスペシャリストが活躍!



当院の特徴

チーム医療
に貢献!

幅広い
医療分野

専門認定
取得者多数

薬剤師の
臨床能力発揮

地域薬剤師会
との連携

学会発表

病院薬剤師の未来像を描く

薬剤部長 堀 勝幸

薬剤師の役割は、薬物療法の有効性と安全性の確保にあります。そのためには、薬剤師は自らの力で薬物療法を評価し判断することが何よりも重要です。私達はフィジカルアセスメントの実践やバイタルチェックによる患者評価、画像読影スキルなど、薬剤師の臨床能力を向上させ、患者中心の医療を実践しています。専門的な視点を持ってチーム医療に参加し各領域でスペシャリストとしての質の高い医療を提供しています。当院では、早くから「患者さんと接することで、病院薬剤師として多くの経験を積むことができます。病院薬剤師としてのやりがいと一緒に感じませんか。

薬剤師として

笠原 幸子

一日の業務だけでも、調剤、無菌調製、外来服薬指導、医師への処方提案など様々な業務に携わることができ、幅広く活躍できる職場だと感じています。そして何より薬剤部の和気藹々とした雰囲気が魅力です。風通しの良い職場で、優しく優秀な、志高き先輩方に触発されながら、毎日楽しく仕事をしています。将来は感染制御専門薬剤師となれるよう頑張ります。ぜひ一緒に働きましょう！

薬物療法だけでなく心もサポートしたい!



当院の特徴

薬剤師外来

訪問薬剤
管理指導

集団精神療法

心理教育

精神科研修
研究センター

学会発表

日本一の精神科病院を目指して

薬剤部長 五味 和彦

当院は精神科の単科病院ですが、薬物療法については入院中は病棟で、退院後は薬剤師外来で、さらに必要な方には訪問して、患者さんの生活を考え気持ちに寄り添った相談指導をしています。身体合併症の患者さんも多く、身体科の薬物療法もフォローしています。また、平成29年4月に研修・研究センターを開設し、研究や学会発表にも力をいれており、日本一の精神科病院を目指し日々努力しています。是非、あなたも私たちと一緒に働きませんか。

求められる薬剤師に

田端 真理生

精神科の薬の難しさ、患者さんとの接し方…

いろいろ心配があるかと思いますが、スタッフや患者さんは薬剤師を必要としてくれています。当院では、他ではできない精神科特有の医療を行っており、とても勉強になります。こころの医療センター駒ヶ根でぜひ一緒に働きませんか。

くらし

医療はフィールドワークだ。生活に寄り添う和みの医療センター



当院の特徴

巡回診療

訪問薬剤
管理指導

在宅医療の充実

オーダーメイド
医療

病棟薬剤業務

チーム医療の実践

生活を支える医療

薬剤部長 増田 硬三

当院のある下伊那郡南部は、全国的にも高齢化が進んだ地域になります。誰もがまだ見たことのないような、超高齢化社会がここにあります。そして、患者さんたちが暮らすのは山間の小さな集落です。往診や訪問といった、在宅医療への取り組みはもちろん、医師、看護師、薬剤師、事務員を構成員とする無医地区への巡回診療を毎週実施しています。生活を支える医療でありたい。その担い手として、一緒に働いていきましょう。

地域の人に寄り添う

牧内 里衣

阿南町は長野県の南部に位置しており、町の南部は愛知県に接しています。この地域は昔ながらの「人と人とのつながり」「人へのあたたかい・優しさ」が今だに残っていると思います。当院は高齢化先端地域に立地する総合病院であり、薬剤師としての高度・専門医療を提供することが求められています。地域連携・多職種連携を常に感じながら阿南病院で一緒に働きませんか。

地域密着でジェネラルに活躍できる薬剤師!

当院の特徴

チーム医療
薬薬連携

病棟薬剤業務

抗がん剤
TPN調製



巡回診療

災害拠点病院
地域がん診療病院

学会発表
認定資格取得

薬物療法で地域医療支える

薬剤部長 丸山 起人

当院が立地する木曽郡の面積は、ほぼ香川県の広さに相当しますが、病院は当病院のみです。そのため、当院は18診療科で急性期から慢性期まで、新生児から高齢者まで幅広い診療を行うとともに、災害拠点病院、地域がん診療病院としても役割も担っています。その中で薬剤師は、幅広い知識を身につけ、よりよい薬物療法を提供するため、チーム医療への参画、薬薬連携、認定資格取得などに取り組んでいます。様々な経験を通じ、得意分野や極めたい分野を見つけ、一緒に薬物療法で地域医療に貢献しましょう。

薬剤師ならではの視点を

富田 勇

木曽病院は、急性期から慢性期まで幅広い患者さんの受け入れを行っています。そのため関わる疾患・薬剤は幅広くなります。他の職種との連携も多く、患者さんの状況を多職種で情報共有し治療方針を決めていくため、求められる知識も多くなります。チーム医療の中で、医師の診断や看護師からの情報だけで薬剤を選択するのではなく、今服用している薬の作用が本来の疾患を見えづらくなっているのではないかなど、薬剤師ならではの視点を取り入れるよう努力しています。とても難しいことではありますが、検査結果等を見ることのできる病院薬剤師だからこそ成せることだと思います。私自身もこの意識を持ち始めたのはつい最近で、薬学的知識はもちろん、医学的知識も必要になりますが、日々の業務の中で一つずつ確実に身に付けていきたいと思います。ぜひ一緒に知識を磨いていきましょう!

小児の高度専門医療に薬物療法で貢献!



当院の特徴

微量で
複雑な調剤

高カロリー
輸液の調製

抗がん剤
鑑査調製

多彩な
院内製剤

小児服薬指導

学会発表
認定資格取得

小児高度専門医療を支える

薬剤部長 伊藤 陽一

こども病院は平成5年に 60 床で開院。当時薬剤師は4名でした。現在は 200 床、薬剤師に求められることは、病棟業務、注射薬調製、チーム医療参画等々多く、それに応えられるよう体制を整えてきました。現在は薬剤師 14 名、事務補助2名、SPD3名という体制です。「みんなで高みを目指す」を掲げ、明るく和気あいあいとした中にも、レベルの高い業務を遂行しています。仲間達からも子供達から元気をもらえる素晴らしい職場です。是非一緒に働きましょう!

お城のようなかわいい病院

熊谷 静香

当院は最先端の小児医療に、携われることが一番の魅力だと思います。苦手意識を持ちやすい小児領域ですが、専門的な知識を身につけることは、薬剤師として仕事をしていく上で、大きな強みになると思います。小児薬物療法認定薬剤師としてこどもたちの「怖い」「痛い」「苦い」などの不安を少しでも減らしていくよう、プレパレーションや緩和領域において、ステップアップを図っていきたいと思っています。こどもたちの成長と寄り添いながら、自分も成長できる。こども達の「できた!」と一緒に自分の「できる!」と一緒に増やしていきましょう。

チーム医療で活躍する認定薬剤師

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 感染制御専門薬剤師 | インフェクションコントロールドクター(薬剤師) |
| 感染制御認定薬剤師 | 麻薬教育認定薬剤師 |
| 抗菌化学療法認定薬剤師 | 緩和薬物療法認定薬剤師 |
| 精神科薬物療法認定薬剤師 | 漢方薬・生薬認定薬剤師 |
| 栄養サポートチーム専門療法士 | 認定スポーツファーマシスト |
| 小児薬物療法認定薬剤師 | 研修認定薬剤師(日本薬剤師研修センター) |
| 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 | 認定実務実習指導薬剤師 |
| 日本糖尿病療養指導士 | 精神薬学認定薬剤師 |
| HIV感染症薬物療法認定薬剤師 | 老年薬学認定薬剤師 |
| 登録抗酸菌症エキスパート | (取得している認定の一部) |
| 認定吸入指導薬剤師 | |

県立病院機構の待遇&福利厚生

- 給与月額 法人の規程により支給します
- 賞与 年2回(6月、12月)
- 昇給 年1回
- 各種手当 扶養手当、住居手当、通勤手当、特殊勤務手当、超過勤務手当等
- 社会保険 地方職員共済組合(健康保険、年金)、雇用保険
- 勤務地 県立病院のいずれかに勤務していただきます
- 異動 本人の希望等を勘案し、異動することがあります
- 赴任旅費 法人の規程により支給します(採用時も対象)
- 勤務時間 7時間45分/日(8:30~17:15 うち休憩時間60分)
- 休日 土日、国民の休日、年末年始(12/29~1/3)
- 休暇 年次休暇(4月採用時20日/年、翌年以降25日/年・夏季休暇5日を含む)
療養休暇、介護休暇、特別休暇、産前産後休暇(産前8週・産後8週)
- 休業 育児休業、自己啓発等休業、修学部分休業 等
- その他 長野県職員互助会、各種祝い金、宿舎、被服貸与、院内保育所等

奨学金返還助成制度があります!!

- 対象者 新卒薬剤師(原則)で、大学在学期間中に「独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)」等の公的機関の貸与型奨学金を受け、奨学金の返還義務がある方
- 助成額 毎月の返還相当額(月の上限5万円)、助成総額360万円(上限)
- 助成期間 最長10年

インターンシップ随時受付しています!
QRコードからお申し込み下さい

お問い合わせ
はちらまで

地方独立行政法人長野県立病院機構本部事務局人事課
(〒380-8570 長野市大字南長野字幡下692-2)
📞 0120-173-314 📩 yakugakusei@pref-nagano-hosp.jp

